

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2023年10月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2023年10月1日発行 通巻366号

やっと涼しくなりました…

“実り”を求めて秋山へ…

10月号目次

・ 目 次	2
・ 9月理事会報告	3
・ 副理事長就任あいさつ	6
・ 関東ブロック役員交流会報告	7
・ 山行報告：富士山（羽鳥健一郎：東葛山の会）	11
・ 2023 事故防止・経験交流集会開催案内（教遭委員会）	13
・ 房総プロジェクト・ハイキング開催案内（ハイキング委員会）	14
・ 前副理事長：鶴田秀雄さんを偲んで	15
・ 10月・11月予定表	20

<速報> ネパールトレッキング隊 出発迫る！

p.6

個人情報があるので取り扱いには留意して下さい。

『山行報告』や『集会報告』などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りをお願いします。

ワード、A4、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm

写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会 廣木國昭委員長 danphiro@jcom.zaq.ne.jp

委員：安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

<表紙写真説明>

富士山高所登山訓練『「頂上富士館」前にて

9月11日(月)に、県連海外委員会企画の『ネパールトレッキング』の参加者5名が、トレッキング手配会社の(株)ワンダーズアドベンチャーの中山代表と一緒に、高所トレーニングとして富士山に登りました。中山さんが募集したネパールトレッキング参加者5名も一緒に登りました。休憩時には『SPO2』を測定し、呼吸法の指導も受けながらの登山だったようです。そして辿り着いた御殿場コースの頂上での登り切った満足感に溢れた参加者の顔・カオ・かおです。10月25日の出発そしてトレッキングが楽しみですね。(編集子)

千葉県勤労者山岳連盟 2023 年 9 月 理事会議事録

議事録作成者： 渡邊（松戸）

日 時 2023 年 9 月 21 日（木）

場 所 オンライン会議 19:00～20:40

参加者一覧（2023 年度）

県 連 理 事		×	松宮（市川）	○	野田（かがりび）	○	深草（あびこ） （代）高橋
×	藺田（ちば）	○	西岡（ちば）	○	五木田（こまくさ）	○	羽鳥（東葛）
○	酒井（船橋）	○	田中（ふわく）	×	今井（茂原）	○	渡邊（松戸）
○	鈴木（まつど遠足）	○	小林（山翠会）	×	（仮）豊田 （らんたん）	×	戸石（民医連）
○	荒井（岳樺）						
県 連 役 員		○	広木（会長）	-	野田（理事長）	○	具志堅（副理事長）
○	菅井（自然保護）	○	伊東（教遭）	○	安彦（海外）		
全国連役員		×	石川（副理事長）	○	山本（理事）		

○：出席、×：欠席 理事と役員兼務の場合は理事の方に記載

議 事

1. 理事長挨拶（野田）

- ・8月31日に、全国連で活躍されてこられた「鶴田秀雄氏（ちば山の会）」が逝去
- ・9月より副理事長に「具志堅浩俊氏（松戸山の会）」が就任

2. 役員会報告（野田）

1) 9月14日（木）オンライン役員会 13:00～14:00

① 鶴田氏 ご逝去について

・「ちばニュース10月号」に「鶴田様との思いで・・・」を募集し、掲載することを連絡する。 締切：9月25日（担当：安彦氏）

② 9月2日実施「関東ブロック役員交流会」について

・後日議事録にて報告

③ その他、委員会活動報告など

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

① 事故報告 8/6 奥多摩倉沢谷にて転倒。57歳女性 腓骨損傷。

② クライミング講習

9/2 4回目実施 トップロープで確保したリードクライミング訓練

10/1 5回目実施予定

10/29 6回目外岩訓練を予定

<講師の感想>

- ・講習会数が1～2回増えると望ましい。
- ・参加者8名とも上達。

『事故一報』は、事故発生後 1 ヶ月以内に提出して下さい。提出先は2ヶ所。

① 全国連盟：事務局

② 千葉県連：教育遭難対策委員会
伊東委員長（メールにて）

③ 事故防止・経験交流集会

日時： 11/18(土) 10:00～16:30

場所： 労山全国連会議室(飯田橋駅から徒歩 10 分)

内容： 事故事例報告、ファーストエイド講習など

申込： 申込フォーム（近日中に配信）で 各会一括申請 締切：11/3(金)

『ちばニュース 9 月号』
で案内した場所が、
変更になっています。

④ 茨城県連主催のセルフレスキュー講習会

・9/16(土)～17(日) 教遭委員 1 人参加。ちばニュース 10 月号にて報告予定

⑤ 千葉こまくさハイキングクラブに最近の事故発生状況の確認を依頼

2) 自然保護委員会（菅井）

① 関東ブロック自然保護集会を予定

・11/18～19 横浜市上郷森の家、鎌倉ハイキング

② 磯根海岸クリーンハイク（5/21 実施）について

・「開催趣旨」について全国連より報告要請あり、近日中に報告予定

3) ハイキング委員会（田中）

① 県内 3 団体のハイキングを実施予定

・11/23(勤労感謝の日)

・房総復興 PJ の一環として「富山」西尾根からの周回を予定（別添資料有）

② 房総復興 PJ の進捗

・コース整備を行った記録を作成し、PJ に報告が必要 10/3 に PJ 会議あり

4) 組織委員会（野田）

① 「各会状況調査」について

・2 年毎に行っている各会の山行実績調査などを今年度中に実施予定

2024/1 月前半に提出締切 → 3 月総会資料(組織委員会取りまとめ)

5) 女性委員会（広木）

・石田先生と協議中（高齢者向けの身体のメンテナンス、栄養学的内容など）

6) 海外委員会（安彦）

① ネパールトレッキングについて

・参加者は、11 日間コース 10 名と 20 日間コース 7 名の計 17 名

・9/11(月) 高所登山訓練として富士山登山を実施(参加者 5 名)

・VISA 取得（ネパール入国許可登録）。ETA、チケット、旅のしおりを配布済み

・9/27(水) Zoom にて Q&A 打合せ予定（部屋割りやチップ等）

7) 機関紙委員会（広木）

・ちばニュースへの投稿依頼。 鶴田氏の思い出 等

4. 役員会からの連絡（野田）

- ① 鶴田氏の逝去について
- ② 松戸山の会の「具志堅浩俊氏」の9月からの県連副理事長就任について
 - ・現在空席：事務局長、会計 ⇒ 来年度には選任を。
- ③ 関東ブロック役員交流会(千葉県連が幹事)開催報告
 - ・9/2(水) 7連盟、22人参加 後日議事録で報告
- ④ セルフレスキュー講習会(茨城県連主催)
 - ・9/16～17 筑波ふれあいの里
 - ・千葉県連から5人参加(教遭委員会1、船橋1、東葛3) 参加費補助
- ⑤ 救助技術交流会(群馬県連主催)
 - ・10/15 榛名山オンマ谷周辺 申込終了(参加者なし)
- ⑥ 関東ブロック自然保護集会 1/18～19 神奈川県「横浜自然観察の森」
 - ・参加者の取りまとめ(菅井自然保護委員長)

5. 全国連からの情報展開（野田） 7月理事会で説明済

- ① 若手のためのクライミング講習会
 - ・9/30～10/1 小川山・廻り目平周辺 申込終了(参加者なし)
- ② 労山登山学校交流会
 - ・10/21(土)～22(日) 宇都宮市森林公園 湖森館 古賀志山
 - ・登山学校関係者及び会のリーダー対象
 - ・募集人数：30人 締切：10/16

6. 各会理事からの活動状況報告

《岳樺クラブ》

- ・現在会員7名、平均年齢52歳、毎週2～4名クライミング山行実施
- ・会員が2～3名増えれば…。

《かがりび山の会》

- ・今年4名入会(HPの効果?) 中高年の入会希望者多し。・岩、沢の希望者増
- ・月2回の例会を「対面1回」と「オンライン1回」とした。
- ・会報(年4回)を電子化したが、会員への内容の周知が懸念

7. 全国連理事からの連絡・情報提供等

- ・『労山短期掛け捨てプラン』の運用方法などが8月から変更(山本氏)
- ※労山基金臼井委員長名で発信された資料(2023/7/14付)を参照してください。

8. その他協議・連絡事項

- 1) 船橋勤労者山の会からの県連事務所の利用依頼を承認
 - 10/4(水)と10/18(水)の19:30～21:00に例会で使用予定
- 2) 全国連より季刊誌「登山時報」の配布先を受領。名簿内容の確認を。(野田氏)
- 3) 2023年度10月理事会 10月19日(木) オンライン会議で予定
- 4) 2023オンライン講座3回のテキスト、資料、Q&A、受講感想を県連HPに掲載

副理事長に具志堅さん(松戸山の会)就任

県連副理事長に9月から就任しました。

以下、自己紹介をします。

- ◆ 氏 名： 具志堅 浩俊（ぐしけん ひろとし）。
- ◆ 性 別： 男 1952年生まれ。
- ◆ 出 身： 沖縄県
- ◆ 所属会： 松戸山の会
会では事務局長など5年、役員をしていました。



登山を始めたのは20代中ごろで、職場の同僚に誘われたのがきっかけです。
北アルプスなどの別世界に魅了されました。

頻繁に登るようになったのは定年退職後で、破線ルートを歩くうちに単独行での危険を感じ、また、山仲間を求めて山の会に入会しました。

9月2日、関東ブロック役員交流会に県連役員として初参加しました。
労山の課題や各県の取り組みを知ることができ、大変勉強になりました。
よろしくお願いします。

鶴田前副理事長が健康の理由で7月に退任されました。

その前後に、具志堅さんが『副理事長』として所属会『松戸山の会』より推薦があり、役員会（7/13）で話し合われ、理事会（7/20）で承認され、この9月より正式に『副理事長』に就任しました。

正式に就任する前の8月24日（木）の臨時役員会（Zoom）に参加していただき実質的には副理事長としての活動がスタートしました。

更に、9月2日（土）の『関東ブロック役員交流会』に参加し、本格的な活動がスタートしました。

今後の活躍を期待します。（編集子）

<速報> ネパールトレッキング隊、出発迫る！

春より取り組んできました『ネパールトレッキング』の参加者17名（11日間コース10名、20日間コース7名）は、10月25日（水）に、ネパール航空直行便で成田空港から出発します。参加者は思い思いにトレーニングを重ね、持ち物や装備の準備を進めています。出発日が近づくにつれ色々な不安や疑問なども出てきたため9月27日（水）にZoomにて『Q&A』を開催し、ガイドの中山さんから、時には実演を入れて懇切丁寧な回答・アドバイスをいただきました。準備万端でネパールに出発したい…と改めて思いました。

『ちばニュース12月号』に参加者からの報告を掲載予定です。お楽しみに！（編集子）

2023 年度関東ブロック役員交流会報告

記録：安彦秀夫（千葉県連：東葛山の会）

日 時：2023 年 9 月 2 日（土）10：00～19：00（受付 9：30 開始）

場 所：日本勤労者山岳連盟事務所 1 階会議室

主 催：千葉県勤労者山岳連盟

参加者：埼玉 3 名、神奈川 3 名、栃木 1 名、群馬 3 名、茨城 2 名、東京 3 名
(22 名) 千葉 7 名（廣木、野田、具志堅、菅井、小林、田中、安彦）、山梨 0

式次第：①開会宣言・スケジュール説明（千葉県連 野田理事長）

②主催者挨拶（千葉県連 廣木会長）

③各連盟からの報告・質疑応答

④意見交換・課題討議（組織強化、全国連・関東ブロックへの要望等）

⑤まとめ、写真撮影、交流会

⑥閉会挨拶（野田理事長）



（写真提供：東京都連 栗原事務局長）

千葉県連の野田理事長より「開会宣言」と「本日のスケジュール説明」があり、続いて千葉県連の廣木会長より「主催者挨拶」がありました。

参加者各自からの自己紹介(氏名、地方連盟、役職など)後に、事前に提出された報告書(資料)をスクリーン(実際は事務所壁)に投影して、報告が昼休みを挟んで7地方連盟から行われました。

★各地方連盟からの報告（10:15～14:30）（報告順）

<1> 埼玉県連（瀬下理事長）

- ① 海外登山実施（4月～5月）
インドヒマラヤ：ガンゴトリ山群に登山隊とトレッキング隊を派遣
- ② 登山祭典実施予定（10月21日（土）～22日（日））
長瀬荘にて。ハイキング（8コース）、セルフレスキュー講習会、BBQ交流会、山本宏之氏（全国連盟理事）講演会などを実施予定＜各連盟から1名招待＞
- ③ 冊子『埼玉の山旅おすすめルート』を編集中（2024年3月発刊予定）
- ④ 遭難防止・安全教育の一環として『セルフレスキュー研究会』を設立
- ⑤ 各会HPリンクの『名刺大チラシ（QRコード付き）』の作成・配布
- ⑥ 『労山リーフレット』を県連盟として依頼
- ⑦ 全国連盟や関東ブロックで、若い会員が交流できる魅力的な機会を増やして…！

<2> 神奈川県連（渡辺会長）

- ① 読図、気象基礎、クライミング、ファーストエイド・セルフレスキューなどの講習会実施（救命訓練講習用にCPR:訓練用ダミー人形を購入）
- ② 丹沢クリーンハイク、石巻ボランティア活動、山小屋に泊まろう活動、自然観察・里山散策の実施
- ③ バードウォッチングの実施（日本野鳥の会の講師指導で毎月開催）

<3> 栃木県連（八木澤理事長）

- ① 市民向け公開ハイクの実施（2022年11月3日）
- ② 『栃木の山グレーディング』策定に関与
- ③ 新聞記事などから「ヒヤリハット事例」の収集と周知の徹底
- ④ 安全登山講演会実施（講師：花谷泰弘氏）、
救助技術交流会実施（鹿沼岩山・古賀志山）ハイキングセミナー実施（4回）
- ⑤ 足尾の植樹や那須クリーンキャンペーンに参加、クリーンハイク実施
- ⑥ 栃木県と協定し、日光山城の登山道整備や避難小屋の維持管理

<4> 群馬県連（岩崎教育部長）

- ① ロープワーク講習会、尾瀬自然勉強会、谷川岳クリーンハイク、山の日イベント、セルフレスキュー講習会、ぐんま県民ハイクなどの実施
- ② 新会員に対してLINEでのフォローや希望山行の企画、労山加入の利点の啓蒙、
- ③ 会員募集の展開（公民館での行事・講習会開催、群馬県イベントでのチラシ配布、近郊の山での声掛けなど）
- ④ 講師派遣制度の利用（段取りが難しかったが講師の依頼ができた）

（昼食・休憩）11:45-12:50

<5> 茨城県連（高橋理事長）

- ① 会員拡大・維持に向けての活動の実施（繰越金有効利用：前回総会で決議）
 - ・『ハイキング ABC 最新版』の加盟全会員への配布
 - ・クリーンハイク雨天中止に伴い、加盟全会に『デジタル計量器』を配布
 - ・県連盟行事参加者への参加費補助（一人1回当たり1,000～2,000円）および行事開催山域の地形図無料配布
 - ・スノーシュー無料貸し出しの実施（アイゼンやピッケルも検討中）・
- ② Zoomでの理事会や委員会を公開（会員誰でも参加できるように呼び掛け）
- ③ 『山登りを諦めない』をスローガンに『県連活動が面白い』の啓蒙活動展開および合同山行の実施
- ④ 加盟会への活動（特に教育）や事務処理（労山基金手続きなど）のバックアップ
- ⑤ 定期的に開催できる初心者岩登り講習用の適切な場所を探索中
- ⑥ 自然観察会や他地方連盟行事などへの参加呼びかけ、県連理事選出基準の見直し、講習会などでの講師手当支給などを検討中

<6> 東京都連（栗原事務局長）

- ① 東日本大震災復興支援、遭難対策研究集会、東京登山学校、救助隊勉強会、クリーンハイク・自然観察会、三つ峠アツモリソウ保全活動等の実施
- ② 地区連盟の役割の再確認と整理の実施（懇談会開催予定）
- ③ 一般登山者に労山を知って貰う方法を模索中（腕章着用、横断幕作成など）

<7> 千葉県連（野田理事長）

- ① 県連所属会員の年齢構成の推移調査の実施とグラフ化（高年齢層増加傾向）
- ② 房総ロングハイク、初級クライミング講習、磯根海岸クリーンハイク、ネパールトレッキング、オンライン講習会などの実施
- ③ 房総の山復興プロジェクトへの参加（台風被害の登山道などの復旧活動）
- ④ 会員拡大・組織強化・地域社会との連携などの具体策の検討・推進
- ⑤ 会・県連単独でできない技術講習などの継続的な支援を全国連や関ブロに期待
- ⑥ 事務連絡などをタイムリーに確実に実施することを全国連に期待

（休憩）14:30-14:45



★意見交換・課題討議（14:45～16:30）

千葉県連の廣木会長より、『2013 年～2022 年の会員数・会数・会員平均年齢・退会理由などの推移データ』より、次のような報告・提案がされました。

多くの会では運営が厳しく会独自での会員獲得は厳しい状況で、上部組織は下部組織への支援を徹底し、中間組織（関東ブロックなど）も従来の交流主体から下部組織の力になる活動を最優先する必要がある。会員拡大は、関東ブロックで独自の方針を打ち出し取り組む必要がある。現状を見た場合、5 年後はまあまあかも…、でも 10 年後はどうなっているか大いに不安である。意見交換（討議）していただきたい。

これを受けて、各地方連盟からでた主な意見は次のようなものでした。

① なぜ会員拡大が必要か？

- ・年間活動運営の財源確保や安全登山啓蒙などを組織的に行うために必要である。
- ・会員獲得は組織強化につながる。危機感を持って拡大に取り組む必要がある。
- ・子供のころから山に親しむようにしたらよいのでは…（キャンプなど）。
- ・年齢が進むにつれ山に行くことが体力的に厳しくなり、山行計画書に対してアドバイスをしたり、保育園などの登山スタッフとして自然の説明をしている。

② 以前は、労山基金はダントツに優位性があったが、最近は薄れてきているのでは？

- ・労山基金のメリットを明確にし、アピールする必要がある。
- ・お金以外でメリットを出す必要がある（安全登山講習会の開催など）。

③ 「労山だからできること、労山しかできないこと」などの「労山の魅力」を PR する必要があるのでは…。労山の認知度をアップさせる必要があるのでは…。

- ・昔は、「仲間が欲しい」と入会してきたが、今はネットで繋がり飲み仲間もいるので敢えて山の会に入会する必要性を感じない…という若者が増えてきているようだ。しかし、登山技術の未熟さに気が付き、技術指導力のある会に入ってくる人が出てきているようだ。

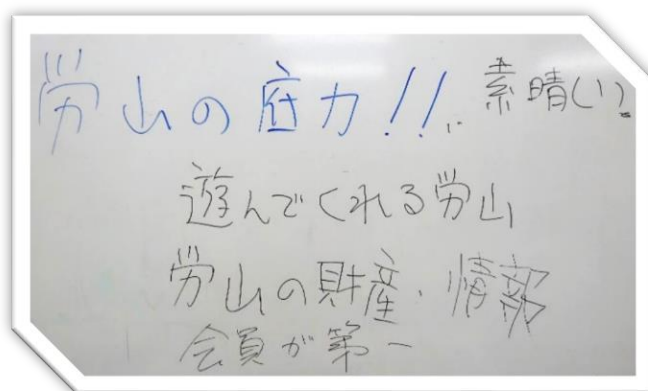
④ 県外参加（地方連盟を越えた参加）の呼びかけ、地域社会とのつながり、一般向けの講習会開催などに積極的に取り組む必要があるのでは…。

★写真撮影・懇親会（17:00～19:00）

参加者全員が揃っての記念集合写真を撮り、自己紹介（一言発言）をしながら和気あいあいと情報交換をしました。

その中で、「労山の魅力とは一言で言うと何だろう…？」ということになり、色々な意見が飛び交いました。

後ろ髪をひかれる思いで交流会が終了となり、片付けを済ませ 19:00 に全国連盟事務所を後にしました。



参加者が思い思いに

『労山の魅力』を書き込みました！

「富士山」の高所登山訓練に参加して

東葛山の会 羽鳥健一郎

日程：9月11日(前後泊で2泊3日)

ルート：富士宮口～山頂/頂上富士館

目的：10月の「ネパール・エベレスト街道」のための高所登山訓練

(呼吸法、歩行技術、歩行ペース&体力確認、水分補給、衣類・撮影機材チェック)

主催：(株)ワンダーズアドベンチャー(「ネパール・エベレスト街道」の手配会社)

参加形態：上記旅行社が企画した富士山登山に「個人山行」として参加

現地集合・現地解散、参加費無料(交通費、宿泊代は個人負担)

参加者：千葉県連からの参加者5名(他5名で合計10名)

天気：8合目までは晴れから曇り、頂上富士館は強風(風速15m)。

下山途中から雨が激しくなる。

千葉県連からは5名が参加しました。

東葛山の会のYさんの車でいった4名の行動を報告します。

(9月10日)

12時30分に松戸西口千葉銀行前集合。東葛山の会からYさんと私、松戸山の会のNさん、まつど山翠会のMさんの4名がYさんの車で前泊地の御殿場に向いました。奇しくも東葛地区の三つの山の会の相乗りとなりました。車中で交流会の様な会話をしているうちに早めに御殿場に到着。近くのアウトレットで山用品の店を1時間位冷やかしてから駅前のビジネスホテルに入りました。ウエルカムサービスとかでカレーライスと生ビール一杯が無料でした。足りない分は近くのコンビニで行動食等と合わせて補充。ホテルに戻り交流会の続きをやり、早めに就寝。

(9月11日)

3時30分起床、朝食。ホテルに5時少し前に到着した(株)ワンダーズアドベンチャーのNさんの車の後について富士宮口に向かいました。

6時駐車場到着後、全員の顔合わせ、トイレを済ませて集合写真を撮って6時30分に登山開始。ポイントごとにパルスオキシメーターで「SP02」の測定をしながら山頂を目指しました。登山での測定経験は初めてでした。

以下が私の記録です。

測定地点	標高(m)	SP02値
五合目	2,375	93
新七合目	2,795	92
七合目	3,027	91
八合目	3,229	85
九合目	3,406	90
頂上富士館	3,740	85





剣ヶ峰

頂上富士館では頭痛はありませんでしたが、手の指先がすべて冷たくなり痺れも出ました。強風のため全員での剣ヶ峰は諦め記念写真を撮り下山開始。九合目の休憩の際、左太ももに違和感が出たため慌ててツムラの「68」を服用し患部にホカロンを貼り、頂いたスポーツドリンクを補給しました。痛みは治まり安堵しました。「68」はお守りにいつも登山では持っていましたが服用は初めてでした。七合目あたりから雨も降りだし、次第に大粒の雨になりました。剣ヶ峰に行かなかったのが駐車場には16:00に無事に到着しました。それでも9時間30分の「高所登山訓練」でした。

その後、宿泊している御殿場駅前のホテルに向いました。車中は同じ苦勞をした後でもあり、前日より色々と会話は盛り上がりしました。

駅前で帰る人を送りもう一泊し、我々二人は、翌日朝食後帰途につきました。

(感想)

- ① 富士山の山小屋は9月10日ですべてがクローズ。登山者も疎らの中で登山することが出来ました。8月中のニュースで流れていた「弾丸登山」等の人混みが嘘の様でした。また山小屋を閉める作業も垣間見ることが出来ました。
- ② 呼吸法や高所登山の諸注意を現場で体験できました。
- ③ 来月の出発を前に東葛地区の他の山の会の2名をはじめ初対面の方々と色々と話や交流が出来良かったです。
- ④ 車を提供してくれたYさんに感謝です。
- ⑤ 個人的には3度目の富士山でしたが21年振りでしたので体力面で不安もありました。無事に下山できて安堵しております。参加された皆さん、お疲れ様でした。



<注>集合写真(表紙含む)は、(株)ワンダーズアドベンチャーの中山さんが撮影。



池田館(八合目)



2023 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨に開催します。

事故事例研究では、アウトドアショップ「ヨシキ&P2」スタッフの事故者ご本人から報告していただきます。詳細は下記を参照下さい。

記

1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会

2) 日時 **11月18日(土)10時～16時30分** (9時30分より受付)

3) 場所 **日本勤労者山岳連盟事務所 1階会議室**

(飯田橋駅から徒歩10分)

*

『ちばニュース9月号』での
案内場所が変更になっています。

4) 内容

(1) 事故報告

今年度発生 of 事故報告。

(2) 事故事例研究

妙義山で転落しへりで救助された事例報告。

「仲間が事故った！ そのときあなたは何をすべきなのか？」

(3) ファーストエイド講習

講師は国際看護師の資格のある労山会員。

(4) フリーディスカッション

いくつかのテーマから希望するテーマのグループに参加し、自由な意見交換による情報交流 (テーマが決まり次第、申込フォームを配信予定)

5) 参加申込／締切

別途配布の参加申し込みフォームにて 会で一括申請してください。

教遭委員会 伊東: itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384

参加者は30名程度 (スタッフ含む) を予定しており、申込多数の場合は、調整する事があります。

参加申込締切
11月3日(金)

(昨年の開催風景)



房総の山復興プロジェクト みんなで歩こう！復旧された登山道…

整備した「富山北峰西尾根」から『富山』へ

富山の最も楽な伏姫籠穴の先が崩落し通行禁止となり尾根の整備に力を入れました

3月から4月初めの西尾根の花が不思議です！ 頂上からは東京湾を見渡せ、
南峰からの下りでは、話題の会員制サーキット『コーンズ』が良く見えます！

少し力のいるコースですが、トレーニングにも最適！ 山溪で紹介されました！

日 程： **2023 年 11 月 23 日(木・勤労感謝の日)**

道の駅『富楽里とみやま』集合・解散 日帰り

コース： 『ハイウェイオアシス富楽里：道の駅富楽里とみやま』スタート&ゴール
富楽里→＜西尾根＞→富山北峰→富山南峰→福満寺→富楽里（周回コース）
（原則、各会で行動をお願いします。）

交 通： 千葉駅から出ているバス（南総里見号）の利用が便利です！

千葉駅南口 21 番乗り場 8:32→ ハイウェイオアシス富楽里 9:59

費 用： 交通費 千葉駅から 1,480 円（片道/バス）

※常磐線沿線は観光バス利用を検討中（我孫子駅北口公園前発・鎌ヶ谷市役所経由）

コースタイム：歩行時間：4 時間 30 分（休憩含む）

富楽里出発 10:20…富山北峰 12:20(昼食)…福満寺 13:50…富楽里着 14:40

雨天中止決定 11 月 20 日 19:00 各会の責任者にメールまたは電話で連絡します。

問合せ・参加申込： 田中康男(ハイキング委員会委員長)

E-メール：dzbo5434@nifty.com TEL:090-8331-6858

参加申込方法 所定の用紙に各会で纏めて上記アドレスまで送付してください。

申込締切： 2023 年 11 月 14 日(火)

◆車で参加の場合、富楽里第 2 駐車場も混雑している時は、福満寺側からの
登山者用の市の駐車場に駐車可能。最寄りの IC は、『鋸南富山 IC』です。

<登山道整備状況>

9/13 豪雨被害を見て
鎌で草刈した。一般道
に倒木 3 本あった

(9/16 済み)。

北峰付近を草刈機で
草刈り予定。

ハイキング委員下見
10 月 16 日 (月) 予定



鶴田秀雄前副理事長を偲んで

8月31日（木）に、前県連副理事長の鶴田秀雄さんが薬石の効なく永遠の旅に立たれました。7月の役員会及び理事会で、退任の挨拶をパソコン越しに聞いたのが、最後の姿と声になりました。

6月のZoom役員会後に、鶴田さんから「体調が思わしくないので副理事長を退任したい…」旨の相談があり、「退任やむなし…」と判断し、翌7月の役員会で話し合い、1週間後の7月の理事会で正式に退任が承認されました。

同時に、全国連盟労山基金運営委員なども退任され、多くの役職を離れ、体調の回復に努められる…と期待していました。

ところが、9月に入り間もなく訃報が届き、驚きと悲しみで一杯になりました。

鶴田さんを偲んで皆さんから弔意の投稿をいただきました。ありがとうございます。また、『ちばニュース』に掲載された鶴田さんの『2023 年年頭挨拶』を紹介します。

鶴田さん、長い間千葉県連の活動をけん引していただきましてありがとうございました。安らかにお眠りください。合掌

イベントを通して会員の繋がりとの

千葉県連盟 副理事長 鶴田秀雄

みなさま 明けましておめでとうございます。

日頃の県連活動へのご協力にあらためてお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、特筆すべきは、夏の『山の日記念講演会』、そして、全4回のオンライン講習会が実施されたことです。内容も素晴らしかったし、参加した会員のみなさまどうしが輪を広げ、繋がりを深めたこととっております。私自身は、これらのイベントになにも協力することができませんでしたが、企画・実行に当たられた広木会長及び他の役員を始め参加された方々に感謝いたします。

イベントといえば、『我々の最大のイベントは山行』であります。私の所属している会は山行が活発で、全ての山行報告がメーリングリストで配信されます。ここ2年以上、山行をしていない私にとって、これらの山行報告を読むことがとても楽しく、臨場感に浸り、対面で会っていない最近の新入会員の人物像をイメージしたりしています。

こうなると県連の他の山岳会では、どんな方がどんな山行をしているのか…を知りたくなります。『ちばニュース』などで、その一部に触れることはできますが、もっと多くの方々の山行報告を読みたいです。山行報告を通して色々と想像することは、会員間の繋がりを広げる手段の一つになると思います。広く自由に山行報告が読める仕組みを作っていきたいですね。

新しい年が皆様にとって充実したものになることをお祈り申し上げます。

（編集子注釈：今年2023年の『ちばニュース1月号』に掲載された文章を引用しました。）

鶴田秀雄さんを偲んで

千葉県勤労者山岳連盟 会長 広木 国昭

鶴田秀雄さんが、8月31日にご逝去されました。
謹んでお知らせいたします。

鶴田秀雄さんは、2002年に「ちば山の会」に入会しました。

2004年から千葉県連盟の活動に理事として参加して以来、2023年まで事務局長・副理事長を歴任していただきました。

当時から、千葉県連盟は幾つかの難題に直面していました。会員の高齢化や組織離れには自身の体験や要望に基づいた取組みを提案して来ました。特に会の枠を超えた「交流山行」には強いこだわりを持っていました。

同時期に、全国連盟・労山基金制度検討委員としても活動していただきました。2005年に国の保険業法の改悪により自主共済は禁止されました。会員が自分たちのために自主的に運営する「自主共済制度」(現・労山山岳事故対策基金制度)を守る運動の中心で活動しました。

2007年6月15日に青山公園で実施した決起集会では、鶴田さんはヘルメットにザック、沢靴にわらじを着用した沢登りスタイルで先頭を行進しました。日頃の鶴田さんからは想像できない行動力と自主共済を守る熱い思いを感じました。

鶴田さんと私は、年齢も近く同じ時代を生きた山仲間として特に親しくさせていただきました。年々少なくなる戦中派として、時には熱くなりすぎた議論もありました。

最後にいつもの様に、鶴ちゃんと呼ばせていただきます。

鶴ちゃん、お世話になりました。ありがとうございました。



『親知らず』にて



東日本大震災
被災地支援活動



船窪小屋にて



鶴田秀雄様ご逝去を偲んで

千葉県勤労者山岳連盟 理事長 野田久生

鶴田様ご逝去の報に際し、慎んでご冥福をお祈りします。

私は県連役員会、理事会、委員会での短い間でのお付き合いでしたが、熱意ある活動に感銘を受けました。残念ながら山行で一緒する機会はありませんでしたが。私が理事長になってから2年半、この間不慣れな私に貴重な意見を頂いておりました。時に意見の食い違いがあり、なかなか合意に至らない場合もありましたが、鶴田様の県連に対する熱意に深く感銘を受けました。今後も職務を頑張っていきたいと思っております。

長い間、ちば山の会、県連、全国連などでのご活躍お疲れさまでした。今後は遠くから「我々登山者の安全」と「労山の発展」を見守っていて下さい。

鶴田さん、長い間ご苦勞様でした！

東葛山の会 安彦秀夫

鶴田さんの訃報を知り、「えっ！？」と思わず叫んでしまいました。

7月の役員会や理事会で、健康の理由で『副理事長』を退任する挨拶を聞いたばかりだったので、こんなに早く永久の別れになるとは思いもしませんでした。

今年のオンライン講座では、『労山基金』講師について快く引き受けていただき、内容についての打ち合わせも済ませ、オリジナルのテキストの作成に取り組み始めていたようでした。ところが、7月に入り体調が思わしくなく、オンライン講座を中止することにしました。もう一度きめ細やかな説明を聞きたかったのですが、その願いは叶わなくなってしまいました。

振り返れば、県連の理事長と事務局長が長い間空席が続き、何とかしなくては…ということで、会員数の多い6会の代表者と理事が県連事務所で会合を重ねました。私も会の代表として参加しました。鶴田さんからは、副理事長という立場で討議が行き詰まる度に、色々な角度から何度も打開策を提案していただきました。しかし、結果的には、空席の役員補充までにはたどり着くことができず、2年半前まで続けました。

役員会や理事会では、鶴田さんからは『県連活動をより活発化するにはどうしたらよいか…』について具体的な提案をいただきました。しかし、その思いに充分に応えることが出来ぬままに経緯し、歯がゆさを感じるとともに悔やまれます。

現在の役員や理事そして各会代表者を初めとして、県連所属各会の会員一丸となって、千葉県連の発展に努力していきますので、どうか今後も温かく見守っていただきたいと思います。

長い間ありがとうございました。安らかにお休みください。

鶴田さんを偲んで

ちば山の会 菅井 修

鶴田さん、体調を崩した後も県連役員としてご活躍していただきありがとうございました。

鶴田さんは、多方面に渡り興味を持っており探求心の強い方でした。

特に強い印象は、県連会議の帰りの電車の中で、数学界の難問である素数問題〇〇の定理や△△の法則等について興味を示し、生き生きと話されたことです。この様子は、今でも鮮明に思い出されます。

鶴田さんの山行は、山スキーや沢を中心に夏山の縦走もしていました。縦走は何回か共にしました。細い身体でしたが年齢を感じさせない強靱でタフな体力は、後輩の我々の目標でもありました。

最後に共にした山行は、5年前 2018 年 8 月の『**称名の滝－大日岳－室堂**』の山行でした。この山行では、私の方の疲労が激しく鶴田さんの体力に改めて感心しました。



(立山連峰をバックに大日三山『大日岳』山頂にて)

その後まもなく体調を崩され、コロナ禍とも重なり山行は出来なくなりましたが、その間も県連役員としてオンライン会議で鋭い問題提起をしてくれました。

体調が良くなれば千葉県内の簡単にいける三舟山等に行くことも考えていましたが、残念です。 ご冥福をお祈りします。

鶴田さんを偲んで

ふわくハイキングサークル 田中康男

ご一緒するようになったのは、東北支援ボランティアからです。
「穏やかで、ケレンミが無く、どこか芯のある人だな～」と、思っていました。

「病魔の合間、一緒に、石巻へ行きたかったな～」と、思っています。

合掌

鶴田秀雄さん追悼

かがりび山の会 山本 尚徳

記憶に刻まれた東北大震災から今年で12年が経ちました。
千葉県連盟の有志はいち早く支援に駆けつけ、長年にわたりボランティア活動をしました。

鶴田さんはじめ仲間と気仙沼でテントをはり復旧作業をし、就寝前に酒を酌み交わし歓談したことも懐かしい思い出です。

その後、NPOを立ち上げ共に理事に就任し、福島ではテント泊をして草刈り作業、石巻牡鹿半島ではお寺に泊まりホヤとワカメの漁業支援も行ないました。

支援先で知り合った山形県戸沢村の豪雪地帯の人々に依頼され、「雪かきボランティア」で共に汗を流し、肘折温泉に入湯し、地元住民との楽しい懇親会が思い出されます。

率先した「行動力」と慎重な「洞察力」、誰からも信頼される素敵な「笑顔」が印象に残ります。

突然の訃報に接し、謹んでお悔やみ申し上げます。



鶴田さんを偲んで

からりび山の会 伊東春正

鶴田さんは役員会では最古参でしたが、常に前向きな提案をされていました。そのうちの一つに、「各会で行っている山行で、他会員も参加可能な計画をHPに掲載し、交流山行を推進したい」があり、それを受けて2020年11月にかがりび山の会主催で「裏筑波山」の山行を実施しました。7会29名の参加があり盛況でしたが、残念ながらその後の継続実施ができていません。

「自然を守っている人がいるからこそ登山ができています」という発言にもハッとさせられました。

ご冥福をお祈りいたします。

県連活動予定表

10月		
日付	曜日	県連活動予定
1	日	第5回クライミング講習（入門編）
2	月	
3	火	房総の山復興プロジェクト外会議(ZOOM)
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	寒露
9	月	スポーツの日
10	火	
11	水	
12	木	役員会（ZOOM）13:00
13	金	
14	土	
15	日	関東ブロック：救助技術交流会/榛名山ワマ谷
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	理事会
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	教育遭難対策委員会（ZOOM）
24	火	霜降
25	水	ネパールトレッキング①②出発
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	第6回クライミング講習（入門編）修了
30	月	
31	火	

11月		
日付	曜日	県連活動予定
1	水	
2	木	
3	金	文化の日
4	土	ネパールトレッキング①帰国
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	立冬
9	木	役員会（ZOOM）13:00
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	ネパールトレッキング②帰国
14	火	
15	水	
16	木	理事会
17	金	
18	土	2023事故防止・経験交流集会
19	日	関東ブロック自然保護集会（18～19）
20	月	
21	火	
22	水	小雪
23	木	房総PJ「富山」登山道復旧視察ハイク
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	教育遭難対策委員会（ZOOM）
28	火	
29	水	
30	木	

事故発生時の連絡先

各委員会、25日までに予定を連絡ください。

●事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

県連教育遭難対策委員会

メール： jwaf@jwaf.jp

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

ファクス： 03-3235-4324

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません